

NST・褥瘡対策委員会では、褥瘡または栄養にまつわる勉強会を行っています。
7月から、中村・山口栄養塾を開講しました。

“若手医師のためのはじめての一步”

今回は、患者さんが必要としているカロリーの設定方法と経腸栄養療法時に起こりうる下痢や高血糖対策についてでした。

適正カロリーを知る

- まず、標準体重[(身長)²×22]と活動量からカロリーを算出する
 - ✓ (身長)²×22×(25~30) kcal/日
 - ✓ 侵襲の有無、体重の変化、血清脂質などを見ながら投与プランを調整する
- 点滴も経腸栄養も投与速度が血糖に影響を与える
 - ✓ 原則ゆっくり投与
- 栄養剤の組成も考える
 - ✓ 炭水化物、たんぱく質、脂質の配合比率
 - ✓ 亜鉛は、インスリンの生成に参与している
- それでも血糖が上がるなら、基本はインスリン皮下注射
 - ✓ 原則決め打ちで！
 - ✓ スライディングは短期間にとどめる

経腸栄養管理を妨げる要因を排除しよう！

- 経腸栄養を妨げる要因をできるだけ排除し、患者さんの経腸栄養を成功させよう

=コツ=

- 1) 投与経路の選択 胃か小腸か？
- 2) 細菌増殖を防ごう
(白湯や食塩を)まぜない！
Curd(カード化)に注意！



次回のNST・褥瘡勉強会予定

平成26年9月

詳細につきましては、後日お知らせいたします。